

# 小千谷市地域包括支援センター通信

○ 小千谷市地域包括支援センター とは  
小千谷市から委託を受けて社会福祉協議会の職員（看護師・社会福祉士・主任ケアマネジャー）が高齢者福祉のために活動しています。

- 介護予防事業のマネジメント
- 虐待防止などの権利擁護事業
- 総合的な相談・支援
- ケアマネジャー（以下ケアマネと略）への支援など



平成 29 年 2 月発行 NO.3  
小千谷市地域包括支援センター  
受託法人小千谷市社会福祉協議会  
小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号  
小千谷市役所内  
電話番号 0258-83-0807  
Email:houkatu@city.ojiya.niigata.jp

## ○平成 28 年度の地域ケア会議の取り組みについての報告

### 1. 地域のネットワーク、近隣支援について民生委員さんと共に考えました

【参加の皆様】 民生委員さん 26 名  
ケアマネ・医療・福祉・保健の関係機関から 36 名、計 62 名の参加をいただきました。

グループワークによる意見交換を行い、地域の高齢者を支援する上での課題を話し合いました。

意見交換で見えた課題から

- 地域に埋もれた人の支援  
閉じこもりや孤立しやすい人の支援の必要性があげられました。
- 取り組みの方法
  - ①高齢者同士での見守りの仕組み作り
  - ②高齢者の自立意識や家族の心構えとの意見がありました。

### 地域の支え合い

近所の高齢者同士が声を掛け合い、互いの見守りができる、地域が望まれています。

### 本人の覚悟と家族の心構え

高齢者や家族もどこで、どんな暮らしをするのか、そのために必要なことは何か、話合っておくことも大切です。

- 終活ノート作成
- 本人・家族ができることの確認

他にも課題や解決のための方法などの意見交換がありました。それぞれの立場から見えてきた課題は、今後の取り組みのため役立てていきたいと思えます。



## 2. 高齢者支援にかかわる専門職の目標について

### 【参加者】

市内の施設など介護保険サービスの事業所 ケアマネ・医療機関相談員・行政機関・社協など 福祉・医療関係者 56 名が参加しました。

サービス種別ごとのグループでそれぞれができることをまとめて、目指す目標を考えました。

多くの意見がありましたが一部を紹介します。

### 目 標

住み慣れた地域で  
安心して暮らせるための  
ネットワーク構築

### 目 標

地域で暮らしていくために  
高齢者と地域と制度を結ぶ



## 3. 地域からの相談をきっかけに地域ケア会議を開催

### 【場所:地域の公会堂】

近所の高齢者 A さんの心配です。

在宅の A さん(認知症)は以前と様子が変わってきました。

最近どうやら、介護保険のサービスで迎えに来る車があります。

A さんは家族が勤めているため昼間は一人、在宅で過ごす日があります。

なじみの人も訪ねてきません。

ある日、近所の人から、一人で過ごす A さんを心配する複数の声があり、地域の民生委員さんから地域包括センターへ相談がありました。

地域の民生委員さん・ご近所・親戚の人ご家族・賃貸住宅の大家さん・ケアマネ・病院・社協の職員など A さんの関係者に集まっていただきました。

皆さんと在宅での生活状況や日中の様子など、A さんが不安なく過ごせるように話し合いが行われ、皆さんの協力や理解を得ることを目的に会議を進めました。



ご家族の意向や近所の協力体制などを確認することができました。

◆ 認知症があっても、地域で安心して暮らせるように、地域の理解や必要なサービスなどを検討する機会となりました。

#### 4. ケアマネからの相談をきっかけに地域ケア会議を開催

【場所：市役所の会議室】

・Bさんは精神に障がいがあり、同居の家族は数年間にわたる介護のために就労ができない状況です。ケアマネは同居家族の生活も心配しています。

➡ 会議の結果、生活困窮者支援担当者と連携して、同居家族の就労準備支援につなげることになりました。

・認知症のCさんの支援を行なっているケアマネは、精神的に不安定な同居家族の医療的な支援が必要ではと考えていますが、うまくいきません。

➡ 会議の結果、同居の家族とていねいに関わることから始めることとなりました。

#### 【参加者】

・担当のケアマネと地域のベテランケアマネ・市役所の各担当者（生活困窮支援や障がい支援、健康センター保健師）・社会福祉協議会職員・民生委員・市外パーソナルサポートセンターや障害者基幹相談支援センター相談員・市内障害相談支援専門員が参加しています。

近年、高齢者を取り巻く環境は複雑で、ご家族の支援がひとすじ縄ではいけないのが、地域の課題です。ケアマネは介護保険のサービス調整のみではなく、介護するご家族の状況に合わせた相談支援（人と人をつなげる）を行う専門家です。

地域ケア会議を通していろいろな制度や窓口を知り連携の糸口を探ることで、ケアマネがパワーアップする機会となりました。

#### 5. 高齢者の支え合いのお話し・・・



・高齢者人口の増加により、支え手が不足している状態が高齢化社会です。

今後は元気な高齢者が支え手にまわることが期待されています。

まず自分が健康で活躍できる場所を探しませんか。



小千谷市社会福祉協議会では、地域の支え合い作りに向けて、あらたな取り組みを始めています。

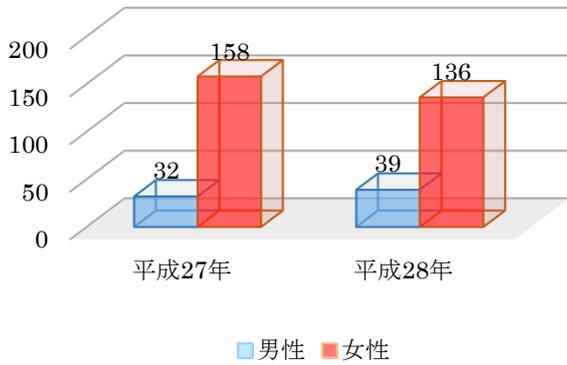
詳しくは、地域福祉係

(電話 0258-83-2340) までおたずねください。

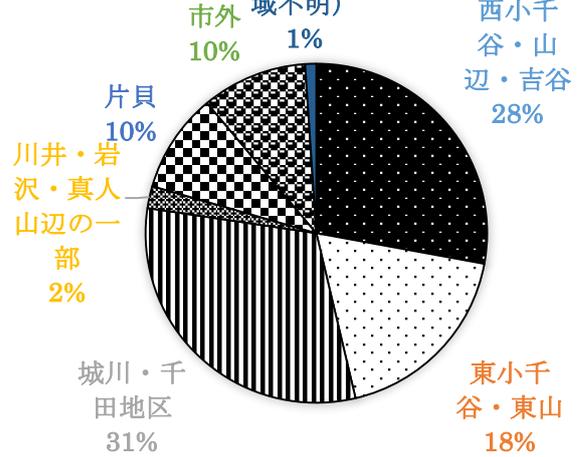


6. 平成 27 年度 28 年度の健康福祉まつりで住民アンケートを実施しました。

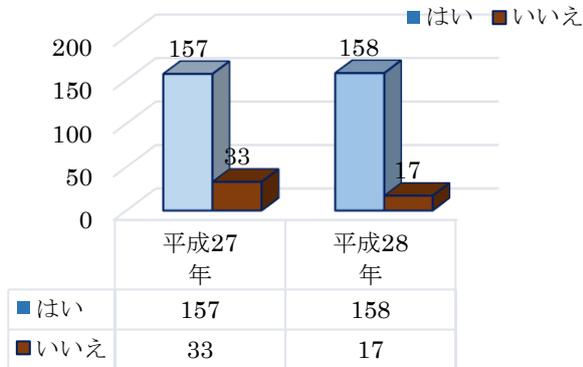
【基本属性】



【地域特性】



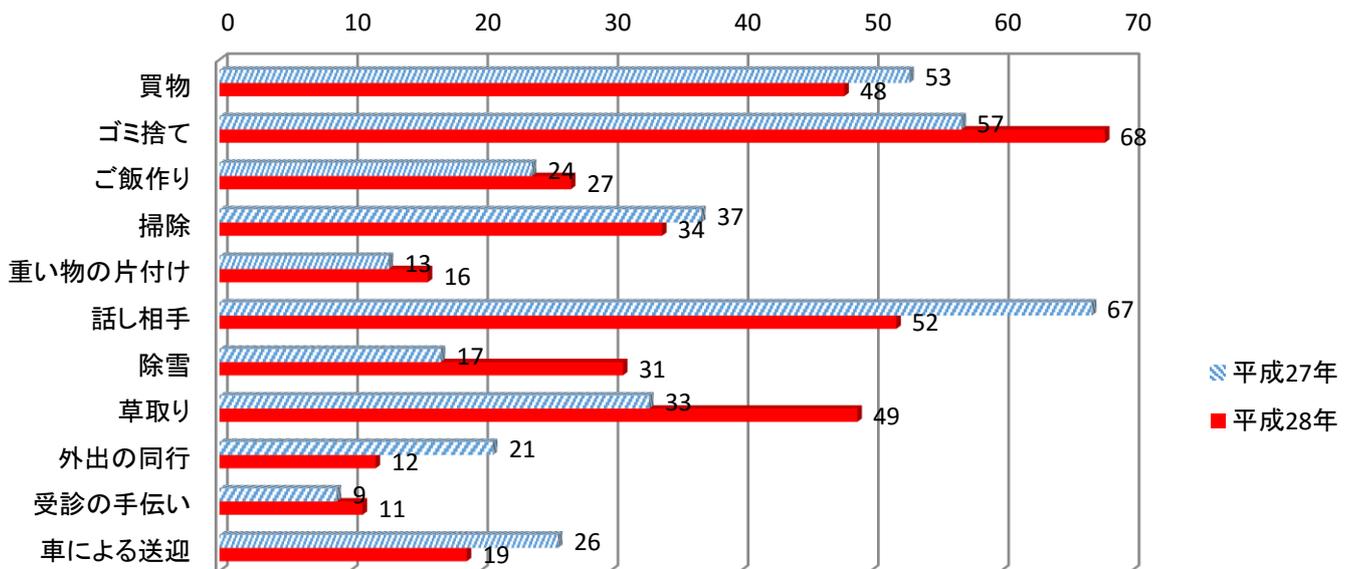
【支え合い活動に参加したいか】



6 歳から 80 歳代後半の幅広い年代の方々よりご協力いただき、ありがとうございます。今後も引き続きご協力をお願いします。



【どんなことならできそうか】



|       | 車による送迎 | 受診の手伝い | 外出の同行 | 草取り | 除雪 | 話し相手 | 重い物の片付け | 掃除 | ご飯作り | ゴミ捨て | 買物 |
|-------|--------|--------|-------|-----|----|------|---------|----|------|------|----|
| 平成27年 | 26     | 9      | 21    | 33  | 17 | 67   | 13      | 37 | 24   | 57   | 53 |
| 平成28年 | 19     | 11     | 12    | 49  | 31 | 52   | 16      | 34 | 27   | 68   | 48 |